

名古屋市環境基本条例に基づく水質環境目標値の見直しについて

環境目標値について

環境目標値は、市民が健康で快適に暮らせるよう、大気と水質の各項目について、汚染物質の濃度などの目標値を定めたもので、この目標を目指して市は様々な対策を実施する。

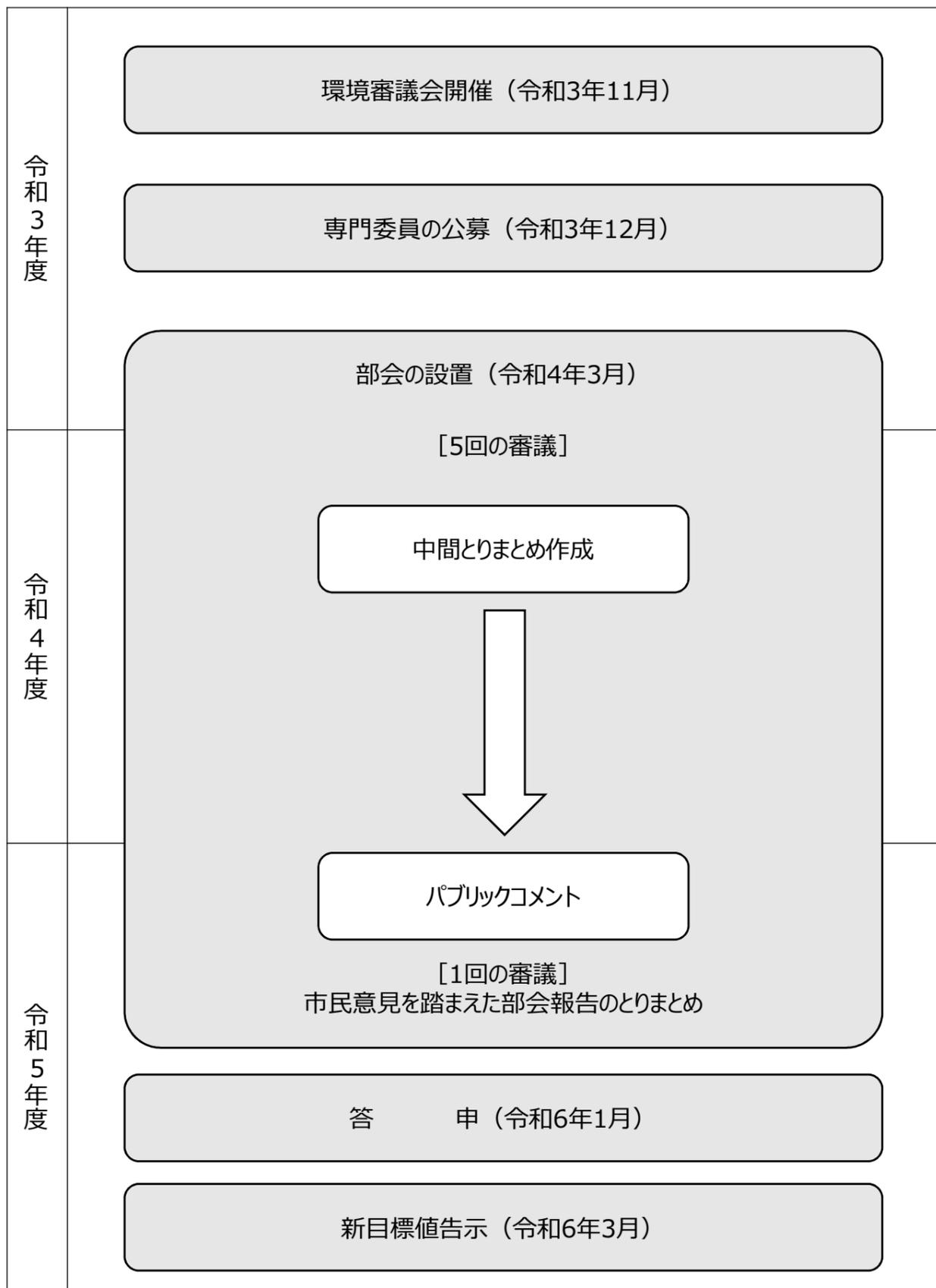
● 環境基準との違い

事項	内容
環境基準	<ul style="list-style-type: none"> 人の健康を保護し、及び生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準 環境基本法に基づき国が定める (生活環境項目の類型指定は、国又は愛知県が行う)
環境目標値	<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康を保護し、及び快適な生活環境を確保する上で維持されるべき目標値 名古屋市環境基本条例に基づき市が定める より地域の実情にあわせて設定することが可能

● 経緯



スケジュール（予定）



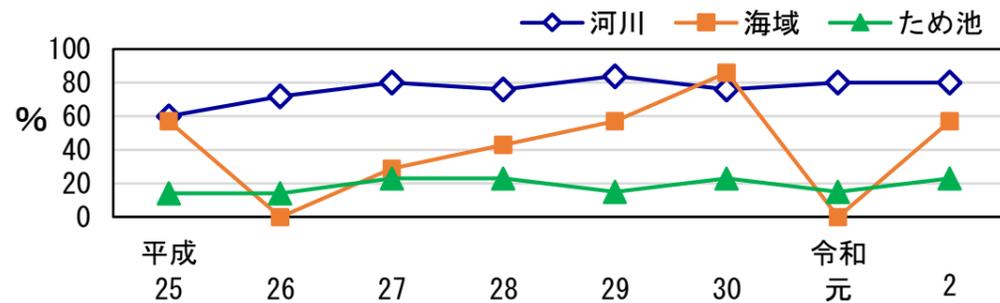
名古屋市環境基本条例に基づく水質環境目標値の見直しについて

環境目標値の達成状況

令和2年度の達成状況

項目	水質の汚濁に関する目標 (河川はBOD、海域・ため池はCOD)	水の安全性に関する目標
河川	25地点中20地点で達成 <令和2年度非達成地点> ・東海橋(中川運河) ・小塩橋(堀川) ・天白橋(天白川) ・香流橋(香流川) ・新東福橋(戸田川)	22地点中21地点で達成 <令和2年度非達成地点> ・荒子川ポンプ所(荒子川) 平成21年度以降、1,2-ジクロロエタンの非達成が継続
海域	7地点中4地点で達成 <令和2年度非達成地点> ・金城ふ頭西 ・N-10<庄内川河口> ・N-14<藤前干潟>	全4地点で達成
ため池	13地点中3地点で達成	全1地点で達成

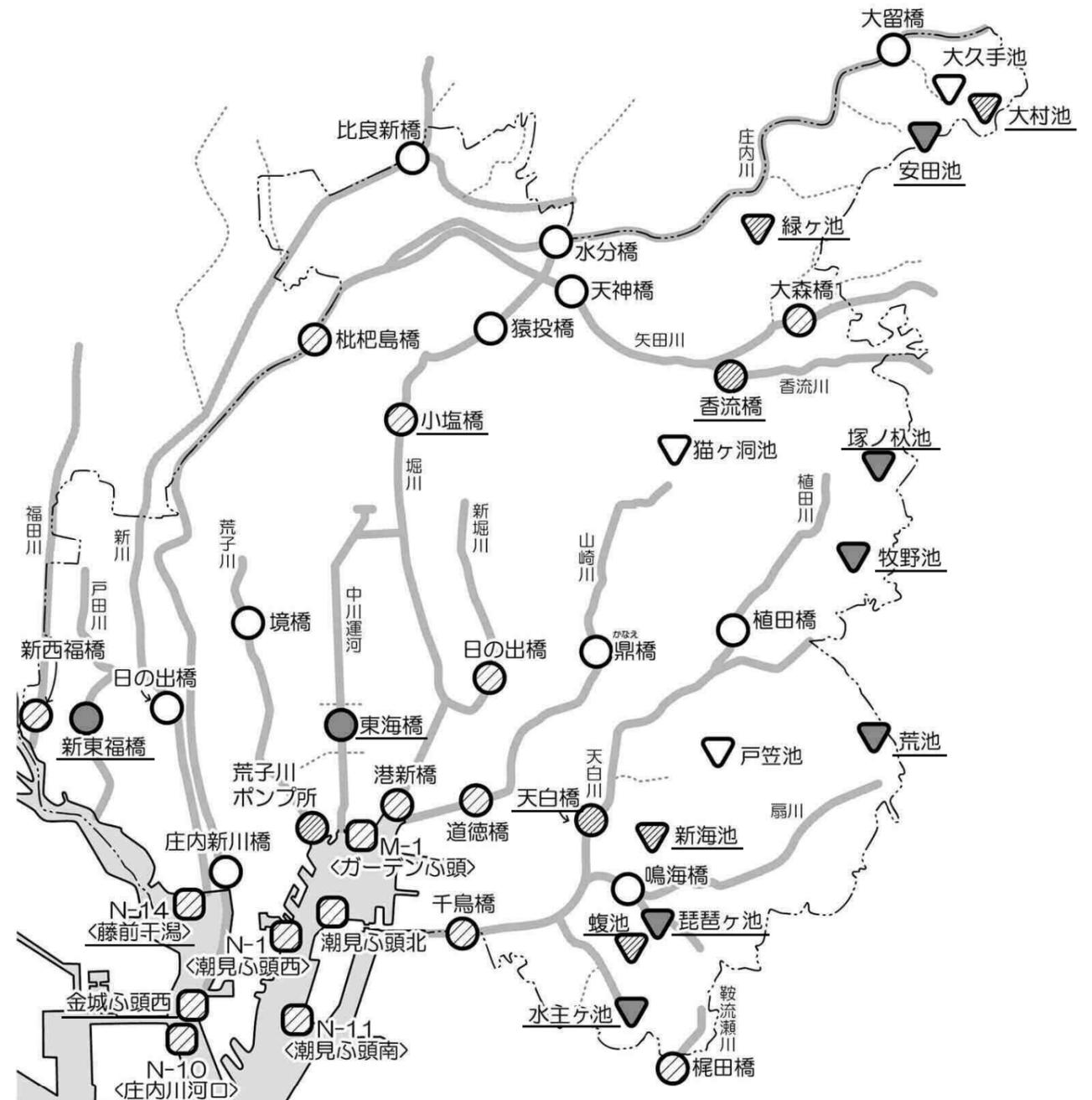
達成率の推移(水質の汚濁に関する目標(河川はBOD、海域・ため池はCOD))



国・県の動向

- 平成28年 3月 水質環境基準(生活環境項目)に底層溶存酸素量を追加 (国)
- 令和 2年 3月 生活環境の保全に関する水質環境基準の水域類型見直し (県)
 - ・ 庄内川中流(2)、庄内川下流、矢田川下流について、D類型からC類型に引き上げ
- 令和 2年 5月 人の健康の保護に関する要監視項目にPFOS及びPFOAを追加 (国)
- 令和 3年 3月 中央環境審議会答申「第9次総量削減の在り方について」(国)
- 令和 3年10月 水質環境基準(健康項目)のうち、六価クロムの基準値を改正 (国)
水質環境基準(生活環境項目)のうち、大腸菌群数を大腸菌数に変更 (国)

令和2年度の水質の状況(河川はBOD、海域・ため池はCODの75%水質値)



河川 (BOD) ○ 3mg/L以下 ◐ 3mg/Lを超え、5mg/L以下 ◑ 5mg/Lを超え、8mg/L以下 ● 8mg/Lを超え、10mg/L以下 ● 10mg/Lを超える	海域 (COD) ○ 3mg/L以下 ◐ 3mg/Lを超え、5mg/L以下 ◑ 5mg/Lを超え、8mg/L以下 ● 8mg/Lを超える	ため池 (COD) ▽ 6mg/L以下 ▽ 6mg/Lを超え、8mg/L以下 ▽ 8mg/Lを超える
---	---	--

※下線は令和2年度環境目標値非達成地点

【参考】水質環境目標値（平成17年名古屋市告示第402号、最終改正平成25年名古屋市告示第506号）

(1) 水の安全性に関する目標

市内全ての公共用水域において、水質汚濁に係る環境基準（昭和46年環境庁告示第59号）に定める、人の健康の保護に関する環境基準を達成することとする。

(2) 水質の汚濁に関する目標

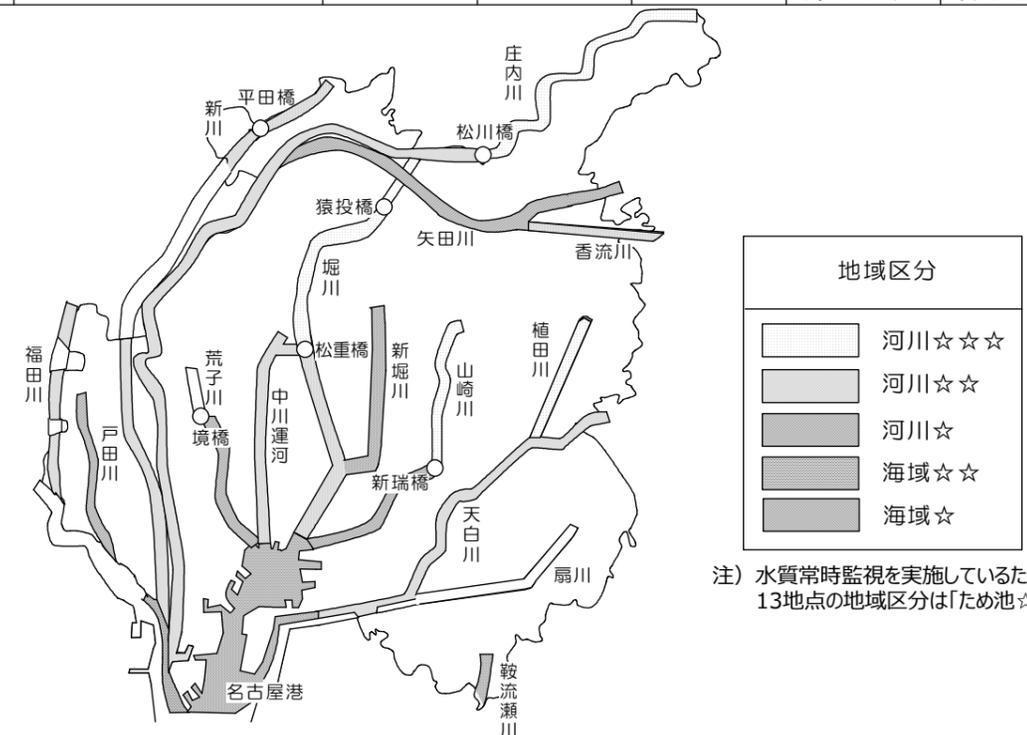
項目	河川			ため池		海域	
	☆☆☆	☆☆	☆	☆☆	☆	☆☆	☆
水質のイメージ	川に入っ ての遊 びが楽 しめる	水際での 遊びが 楽しめる	岸辺の 散歩が 楽しめる	水際での 遊びが 楽しめる	岸辺の 散歩が 楽しめる	水際での 遊びが 楽しめる	海辺の 散歩が 楽しめる
水素イオン濃度 (pH)	6.5以上8.5以下			-	-	7.8以上8.3以下	
生物化学的酸素要求量 (BOD)	3 mg/L 以下	5 mg/L 以下	8 mg/L 以下	-	-	-	-
化学的酸素要求量 (COD)	-	-	-	6 mg/L 以下	8 mg/L 以下	3 mg/L 以下	5 mg/L 以下
浮遊物質 (SS)	10 mg/L 以下	15 mg/L 以下	20 mg/L 以下	15 mg/L 以下	20 mg/L 以下	5 mg/L 以下	10 mg/L 以下
溶存酸素量 (DO)	5 mg/L 以上		3 mg/L 以上	-	-	5 mg/L 以上	
ふん便性大腸菌群数	1,000 個/100mL 以下	-	-	-	-	-	-
全窒素	-	-	-	1 mg/L 以下		1 mg/L 以下	
全燐	-	-	-	0.1 mg/L 以下		0.09 mg/L 以下	
全亜鉛	0.03 mg/L 以下			0.03 mg/L 以下	0.01 mg/L 以下	0.02 mg/L 以下	
ノニルフェノール	0.002 mg/L 以下			0.002 mg/L 以下	0.0007 mg/L 以下	0.001 mg/L 以下	
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS)	0.05 mg/L 以下			0.05 mg/L 以下	0.006 mg/L 以下	0.01 mg/L 以下	

注1 pH、DO、ふん便性大腸菌群数及び河川・海域のSSは日間平均値とする。
 注2 BOD、CODの年間評価については、75%水質値によるものとする。
 注3 全窒素、全燐、全亜鉛、ノニルフェノール、LAS及びため池のSSについては、年間平均値とする。

(3) 親しみやすい指標による目標

項目	河川			ため池		海域	
	☆☆☆	☆☆	☆	☆☆	☆	☆☆	☆
水質のイメージ	川に入っ ての遊 びが楽 しめる	水際での 遊びが 楽しめる	岸辺の 散歩が 楽しめる	水際での 遊びが 楽しめる	岸辺の 散歩が 楽しめる	水際での 遊びが 楽しめる	海辺の 散歩が 楽しめる
水のにごり (透視度)	にごりがない おおむね 70cm以上	にごりが 少ない おおむね 50cm以上	にごりがある おおむね 30cm以上	にごりがない おおむね 50cm以上	にごりがある おおむね 30cm以上	にごりがない (おおむね70cm以上)	
水のおい	顔を近づけ ても不快で ないこと。	水際に寄っ ても不快で ないこと。	橋や護岸で 不快でない こと。	不快でないこと。		不快でないこと。	
水の色	異常な着色のないこと。			水の華 (アオコ) 等の 異常な着色のないこと。		赤潮・苦潮等の 異常な着色のないこと。	
水の流れ	流れのあること。			-	-	-	-
ごみ	ごみが捨てられていないこと。						
生物指標	(淡水域) アユ、モロコ 類、ヒラタカ ゲロウ類、カ ワゲラ類	(淡水域) カマツカ、オ イカワ、コカ ゲロウ類、シ マトビケラ類、 ハグロトンボ	(淡水域) フナ類、イト トンボ類、ミ ズムシ(甲殻 類)、ヒル類	オイカワ、ウ チワヤンマ、 チョウトンボ、 トビケラ類、 ガガバタ、ク ロモ、ヒルム シロ類、コウ ホネ	フナ類、イト トンボ類、コ シアキトンボ、 ミズカマキリ 類、ヨシ、ガ マ類、ヒシ類	(海域) クロダイ、マ ハゼ、シロギ ス、カレイ類、 ヤドカリ類、 アサリ	(海域) ボラ、スズキ、 イソギンチャ ク類、フジツ ボ類 (干潟) ニホンドロソ コエビ、ゴカ イ類、ヤマト オサガニ

(地域区分)



注) 水質常時監視を実施しているため池
13地点の地域区分は「ため池☆☆」